

広島港五日市地区 港湾緑地整備利用計画について

第3回広島港五日市地区港湾緑地整備利用計画検討会

1. 検討会のスケジュール	2
2. これまでの振り返り	4
3. 将来の活用イメージの検討	13
活用コンセプト・利用イメージの具体化	
機能抽出・導入機能	
規模の検討	
機能・施設配置のイメージ	
4. スケジュール	22
整備スケジュール	
暫定利用時の管理スキーム	
本格利用時の管理スキーム	

1. 検討会のスケジュール

■ 検討会のスケジュール

令和5年度

令和6年度

10/5(木)

第1回検討会

議題

- ・検討会の趣旨
- ・対象地と周辺の状況
- ・市場調査の結果

11/29(水)

第2回検討会

議題

- ・将来の利活用の方向性の検討

2/1(木):本日

第3回検討会

議題

- ・将来活用イメージの作成
- ・整備スケジュール
- ・管理スキーム

暫定利用に向けた整備

第4回検討会

議題案

- ・これまで検討のとりまとめ

2.これまでの振り返り

■ 第1回検討会の開催概要

日時: 令和5年10月5日(木) 14:00~

議事: 広島港五日市地区港湾緑地整備利用計画について

- ・検討会の趣旨
- ・対象地や周辺の状況
- ・市場調査の結果概要

広島港五日市地区現地視察



■ 第1回検討会での主なご意見と対応

自然環境

- ・野鳥園は県内ではここにしかないくらい、貴重な場所である。
- ・野鳥保護とあわせて、それを観察できる場所や散策路など、賑わい空間と野鳥保護エリアが共存できるような検討が必要。

今後の対応方針

- 将来の活用として野鳥園の保護と活用を図ります。

レクリエーション

- ・予約を取らなくても、子供たちが気軽に安全に遊べる広場がよい。
- ・多目的に利用できる舗装されていない広場にニーズがある。
- ・障がいのある方も身近でスポーツを楽しめる環境づくりが必要。
- ・遊歩道や犬の散歩、ドッグランができるような場所があればよい。
- ・近隣にBBQができる場所が少ない。

- 多目的に利用できる広場を配置します。
- 車椅子スポーツ等が出来る広場を配置します。
- 遊歩道・ドッグランなど、多様なニーズに対応できる緑地とします。

施設・管理

- ・民間の活力を利用した、施設管理等を進めてはどうか。
- ・緑地の魅力向上や価値をあげる仕組みが必要。
- ・運搬業者の車との動線の分離も検討が必要。

- 新たな民間活用制度を活用した施設管理を検討します。
- 運搬業者との導線分離に向けて、出入口の分離設置を検討します。

2. これまでの振り返り

■ 第2回検討会の開催概要

日時: 令和5年11月29日(水) 14:00~

議事: 広島港五日市地区港湾緑地整備利用計画について

- ・検討会の趣旨
- ・将来の利活用の方向性
- ・施設の管理運営



■五日市地区に求められている機能

第2回検討会資料

検討会

- 自然環境の保護と活用
- 気軽に憩い・交流できる広場
- 身近にスポーツを楽しめる空間の創出

想定される利用(案)

賑わい・交流

憩いの空間

身近なスポーツ

環境の保護・活用

防災拠点

既定計画

- 地域住民の憩いの場
- 従業者の豊かでうるおいある労働環境づくり
- 緑地レクリエーション
- 生息環境の保護
- スポーツ
- 防災拠点としての緑地

利用者ニーズ (ヒアリング)

- 地域住民等の交流促進
- グラウンド不足への対応
- 環境保護
- 物流動線の確保

総合的に利用できる公園

2. これまでの振り返り

第2回検討会資料

■ひとつの将来利用イメージ案(本格利用時)

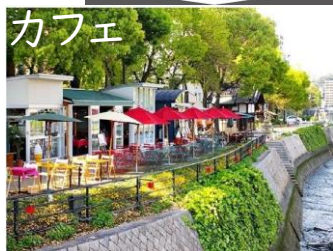
スポーツゾーン

想定機能

- ・多目的グラウンド
- ・テニスコート
- ・ホッケー場 など



その他導入機能案



レクリエーションゾーン

想定機能

- ・多目的広場
- ・デイキャンプ場
- ・ドッグラン など



みどりゾーン

想定機能

- ・野鳥園
- ・観察小屋 など



■ 第2回検討会での主なご意見と対応

【地域ブランディング】

- この公園のターゲットを明確にした上で、検討することが重要である。例えば、特に子供が増えている地域の状況を活かしつつ、生物多様性の学習の場という強みを生かせれば周辺の住民だけでなく、広島市全域からも利用されるなど。
- 近隣に広島ゆかりの企業もあるため、民間の力を活用することで、地域から愛されて使ってもらえる公園になると考える。

今後の対応方針

- 五日市地区の特徴を踏まえたターゲットを設定します。
- 本格利用に向け、新たな民間活力制度を活用した管理・運営を検討します。

【地域観光】

- 観光で人が来れば良いというのではなく、オーバーツーリズムの問題もあるので、適切な受け入れ環境の確保も重要である。
- 五日市の生活圏にふさわしい観光のコンテンツを探っていく必要がある。駅からも比較的近いし、土地が広大なので、音楽フェスなどのイベントができれば、地元も歓迎するのではないか。

- クルーズ船が寄港するため、外国人を含む観光客がみなと周辺で過ごせる場として検討します。
- 五日市地区の地域特性を踏まえた利用イメージを検討します。

2. これまでの振り返り

■ 第2回検討会での主なご意見

【環境体験活動】

- 埋立地の特性としてフラットなスペースが広がることが多いが、起伏がある空間を作ることによって活動の幅が広がると考える。



今後の対応方針

- 廃棄物最終処分場跡地としての制限も踏まえて、空間デザインを検討します。

【地域活動】

- 地域として、近隣企業と地域が一緒になって何かできればいいと思っている。運動会やお祭り等のイベントを既存の住宅地で行っているが、音に関して非常に気を使っている。そのため、新たな緑地を活用できれば住宅地から少し距離があるので地域として非常にありがたい。



- 地域と企業が協力するイベントを実施できる空間として活用できるように検討します。

■ 第2回検討会での主なご意見

【環境保全】

- 日頃より小学校を対象にガイド案内を行っており、野鳥だけでなく、干潟や他の生物のことについても説明している。**野鳥観察施設**が鳥取県や山口県にはあるが、広島県内にはない。そのような場があれば子供達の**環境意識向上**につながると思う。
- 大きな音が出るイベントを行えば、野鳥に対して問題があるかもしれないが、野鳥が生息する**野鳥園の生息環境を工夫**することで大きな問題にならないと思う。

今後の対応方針

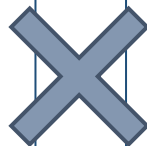
- 五日市地区の水辺環境を学習できる空間として整備します。
- 緑地を活用する際は野鳥等の生態環境への影響に留意します。

3. 将来の活用イメージの検討

■活用コンセプト

五日市地区の特徴

- ・アクセスの良い立地
- ・約33haのまとまった土地利用が可能
- ・賑わい・交流、憩い、スポーツなど、総合的に利用できる公園が周辺にない
- ・スポーツ利用のニーズが高い
- ・県内最大の野鳥の飛来地
- ・クルーズ船の寄港



想定される利用者(ターゲット)

- ・近隣住民
- ・近隣企業の労働者
- ・スポーツ参加者
- ・環境・生物学習
- ・観光客(クルーズ船利用者)

活用コンセプト案

- ・賑わい・交流 『コミュニティ × フェスティバル パーク』
住民・労働者・来訪者が集い、レクリエーションやイベント等を楽しむ空間にします
- ・憩いの空間 『リラックス パーク』
気軽に訪れることができ、自然を感じながら、ゆっくり過ごすことが出来る空間にします
- ・スポーツ 『アクティブ × レクリエーション パーク』
大会から日常的な利用までスポーツを楽しめる空間にします
- ・環境・生物多様性 『エコ × サステイナブル パーク』
優良な水辺環境を生かし、環境・生物多様性に関する意識を醸成する空間にします
- ・防災 『ボウサイ パーク』
耐震強化岸壁や広大な土地を生かし、災害発生時には救護活動などの拠点とします

■ 利用イメージ

賑わい・交流

- 【近隣住民】地域のレクリエーション大会、運動会、お祭等により、子供から大人まで、多くの人が集い、賑わいます。
- 【近隣企業の労働者】地域と連携してお祭りや植樹活動、企業イベント等を実施します。
- 【観光客】クルーズ船の寄港中、地域住民との交流の場として賑わいます。
- 【その他】休日等には移動販売車等が集まってきます。また、定期的にフリーマーケット等も開催され、多くの人が集います。

憩いの空間

- 【近隣住民】平日・休日問わず、ピクニックやカフェでゆっくり過ごします。また、ペットを連れての散歩やペットの運動の場として利用します。
- 【近隣企業の労働者、スポーツ参加者等】休憩時や就業後に散歩やカフェ等を楽しみます。また、ランチの場にもなります。
- 【観光客】クルーズ船の寄港中に緑地内を散歩し、自然を感じ、リフレッシュします。

■ 利用イメージ

身近なスポーツ

- 【近隣住民】キャッチボールやグランドゴルフ等を楽しみます。また、日常的なウォーキング、ランニング等、健康増進に向けた運動を、気軽に楽しみます。
- 【近隣企業の労働者】就業後に仲間が集い、キャッチボールやテニス等を楽しみます。また、企業のクラブチームの練習・交流の場として利用されます。
- 【スポーツ参加者】野球やサッカー等のスポーツ大会へ参加します。また、地域のクラブ活動や障がい者スポーツ等の場として利用されます。
- 【観光客】：クルーズ船の寄港中にウォーキング、ランニング等を楽しめます。

環境の保護・活用

- 【近隣住民、近隣企業の労働者など】四季を通じて公園を利用することで、時々自然を感じます。また、野鳥など環境保護の理解が深まります。
- 【観光客】公園内の緑により、日本の四季を感じることが出来ます。また、五日市地区が野鳥の飛来地であることを知ることが出来ます。
- 【環境・生物学習】公園を利用した自然体験をすることにより、野鳥や水辺の生態系を学習する場となります。

■ 利用イメージ

防災拠点

- 災害時に被災者支援の車両基地、物資輸送拠点等として利用します。



出典：宮城県



出典：宮城県

■ 利用イメージを実現するために必要な機能と施設

機能	導入施設案
賑わい・交流機能	多目的広場、デイキャンプ場、ドッグラン、駐車場
憩い機能	多目的広場、ウォーキング（ランニング）コース、カフェ、コンビニ
スポーツ機能	野球場、ソフトボール場、サッカー場、ホッケー場、テニスコート
環境保護活用機能	野鳥園、観察小屋
防災機能	大規模広場（多目的広場・グラウンド）

ただし、導入施設は本格的な整備段階でニーズ等を再度把握し、適宜見直しを行うものとする。

■前提条件

周辺人口(旧五日市町):134,310人(R2年時点)

野球場:社会人軟式野球規格、ソフトボール場:学童部規格

サッカー場:少年規格、テニスコート:軟式・硬式規格

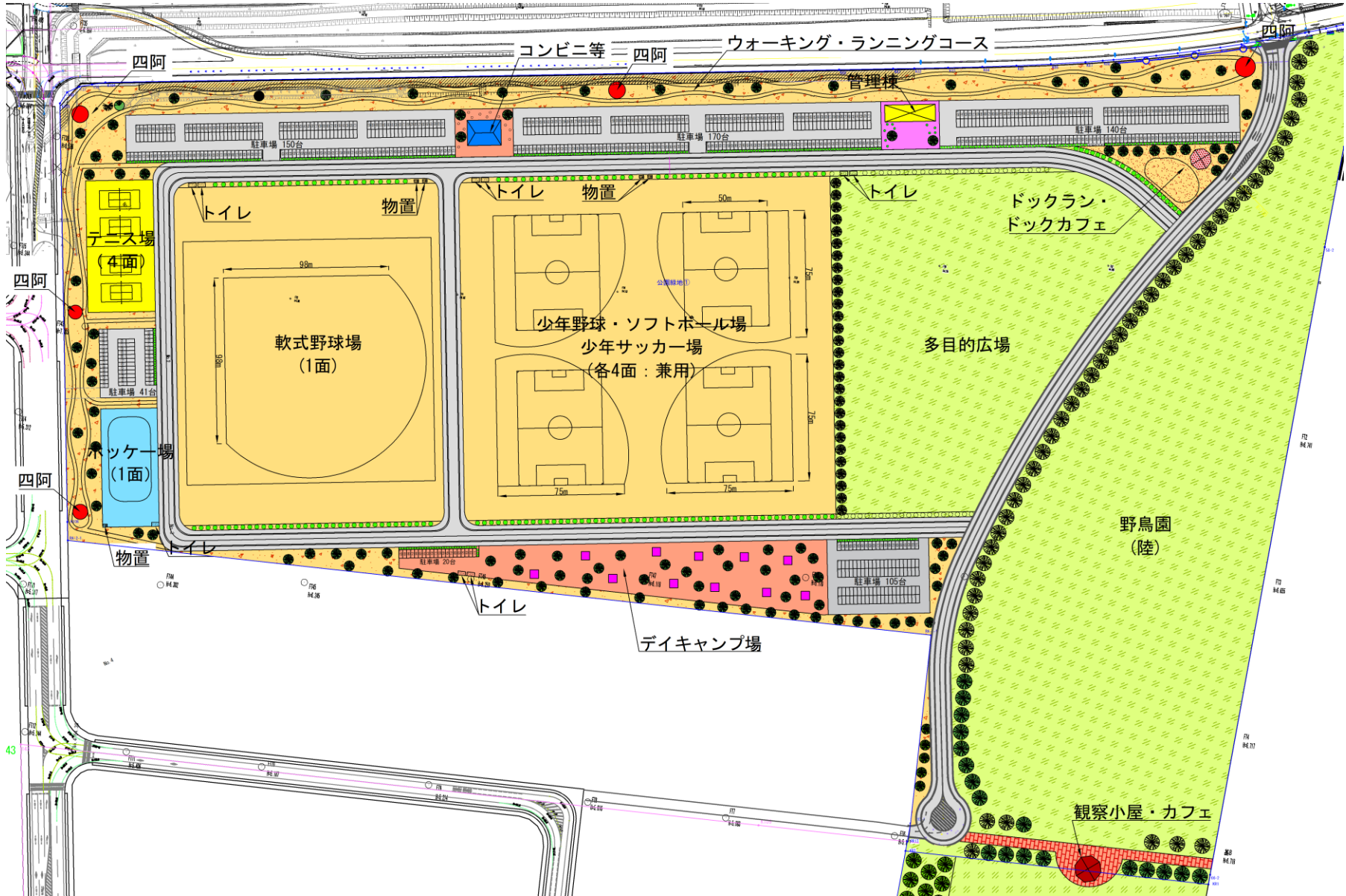
■前提条件

	条件	必要規模 (検討中)
多目的広場	ピクニック等の参加率等	約3ha
デイキャンプ場	類似施設規模参照	約0.2ha
野球場		1面
少年野球・ソフトボール場	令和5年度大会実績より、1会場での試合運営を行える規模	4面
サッカー場		4面
テニスコート	類似施設規模参照	4面
ホッケー場	利用実績	1面
駐車場		約600台
野鳥園	埋立前と同様の干潟面積の確保	約10ha

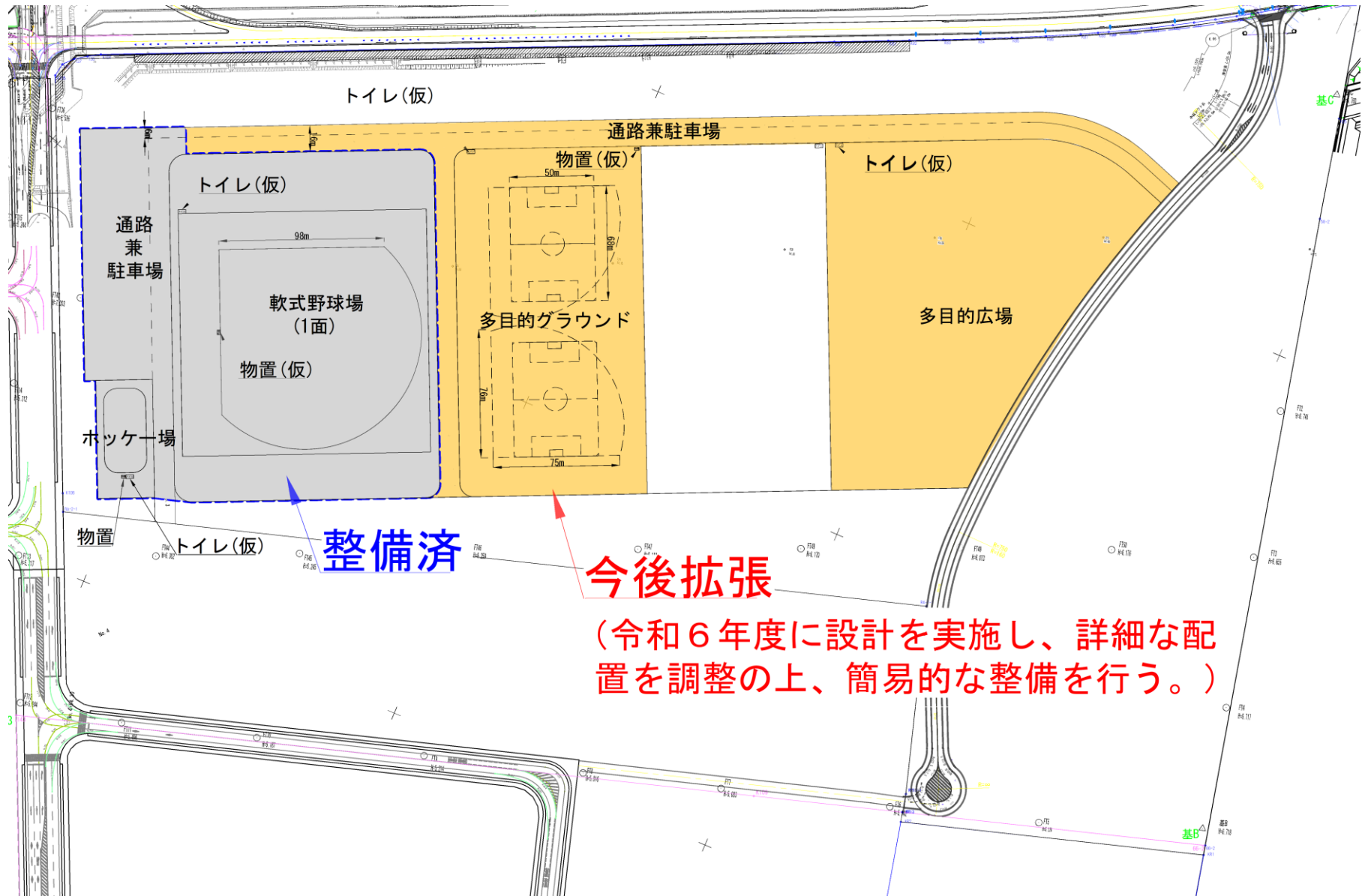
3.4 機能・施設配置のイメージ

検討中

■ 本格利用時（沈下収束後）



■ 暫定利用時（沈下収束まで）



(令和6年度に設計を実施し、詳細な配置を調整の上、簡易的な整備を行う。)

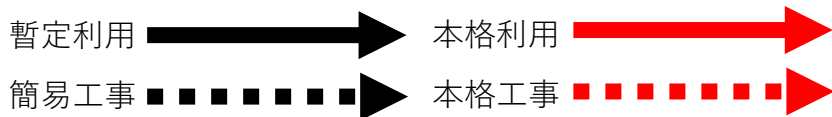
4.スケジュール

■ 暫定利用・本格利用に関するスケジュール

本格利用：沈下収束後（明確な期間は不明であるが5年～10年と推定）

暫定利用：沈下収束まで ※簡易的な整備

	2024	2025	フェーズ1	フェーズ2		フェーズ3		
	令和6年	令和7年	2～3年間	概ね10年以内		概ね10年後		
	暫定利用		暫定利用の拡張				本格利用	
野球場・ホッケー場	■		■				■	
多目的グラウンド		■	■				■	
多目的広場		■	■				■	
駐車場	■		■				■	
カフェ・コンビニ等					■	■		
野鳥園・池					■	■		
観察小屋					■	■		
園路 (ウォーキングコース)					■	■		
トイレ	仮設	■				■		
管理棟					■	■		
道路		■	■					



※現地状況を見ながら
整備スケジュールを定める

■ 本格利用時の管理に向けた考え方

港湾管理者による指定管理者制度やみなと緑地PPPを含む管理運営など、様々な手法を比較しながら、最も適した運営方法となるように今後検討を進めてまいります。

■ みなと緑地PPPの概要

みなと緑地PPP(港湾環境整備計画制度)の創設

港湾緑地等において、**収益施設(カフェ等)の整備**と当該施設から得られる**収益を還元して緑地等のリニューアルを行う民間事業者**に対し、**緑地等の行政財産の貸付**を可能とする認定制度を措置



【期待される効果】

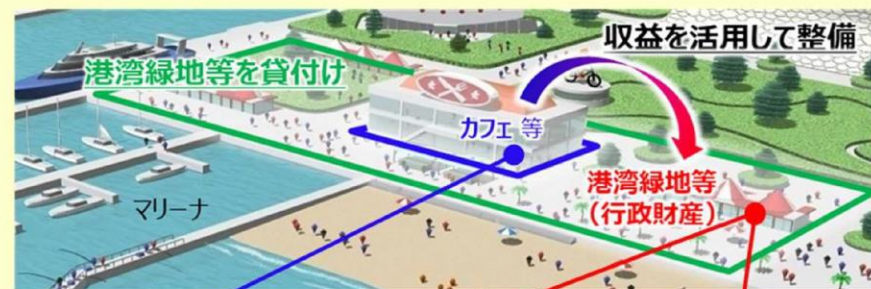
- 民間資金を活用することで、緑地等の整備、管理にかかる**財政負担の軽減**
- 民間活用の更なる推進により、**水際線を生かした質の高い賑わい空間を創出**

制度概要：港湾環境整備計画を港湾管理者が認定・公表
港湾緑地等の行政財産の貸付け

事業期間：概ね30年以内

条件：収益の一部を公共還元
(港湾緑地等のリニューアルや維持管理)

■ 制度イメージ



民間事業者が**収益施設と公共部分を一体的に整備・運営**